阿南市農業委員会　農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況（最終公表）

農業委員会等に関する法律（昭和２６年法律第８８号）第１９条第２項及び同法施行規則第１２条第１項の規定に基づき、推薦を受けた者及び募集に応募した者を公表します。

【総括表】

区分		人数	うち区域ごとの数						うち認定農業者数
			富岡・宝田・見能林	中野島・長生	大野・加茂谷	桑野・新野	橘・椿・福井	那賀川・羽ノ浦	
1	推薦を受けた者 （個人推薦又は法人・団体推薦）	17	4	3	2	3	1	4	5
2	応募した者（推薦を除く）	1	0	0	0	0	1	0	0
合計		18	4	3	2	3	2	4	5

【推薦・応募の状況】

１．推薦を受けた者（個人推薦又は法人・団体推薦）

番号	推薦を受けた者						推薦をした者						推薦する区域	農業委員への推薦又は応募の状況	推薦の理由
								個人			法人・団体				
	氏名	年齢	性別	職業	経歴	農業経営の状況 ①作付品目 ②耕作面積	氏名又は名称	年齢	性別	職業	代表者の役職・氏名	目的	①構成員の数 ②構成員たる資格その他の当該推薦をする者の性格を明らかにする事項		
1	**マスダ　サトシ** 升田　賢	61	男	農業	S62.4 H2.4 H14.7 R4.6 R8.2 神崎製紙(株)入社 ＫＳシステムズ(株)出向 王子製紙(株)出向 就農（兼業） 退職	①水稲 ②120アール	西条　稔	74	男	農業				富岡	非該当	農業者としても最近農業に関心を持たれ熱心に耕作を行っておられます。また最近は地域農家のリーダー的存在となっており農業の牽引的指導者としての資質を持っておられ、今後、最適な候補者として推薦いたします。
2	**イサカ　マサアキ** 井坂　正昭	68	男	農業	丸善商事勤務 福井南石油(有)代表取締役	①水稲・露地野菜（筍） ②350アール	桑野土地改良区				理事長 江口　幸次郎	農業生産の基盤の整備及び開発を図り、もって農業の生産性の向上、生産の増大、選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする	①298人 ②桑野改良区管区内における地権者もしくは耕作者であること	桑野	非該当	氏は農業に精通し、又商業も営み経営感覚に鋭敏であり近代的経営には特に素晴らしい能力を発揮できる人物である。又地区の農業者に対しても信頼が厚く農地利用最適化推進委員として大いに期待の出来る人物である。
3	**コヤマ　ヨシノリ** 小山　義教	67	男	会社員	S52.4.1 R2.8～ R6.6～ 新日本電工(株)入社し、兼業で農業従事 認定農業者 農地利用最適化推進委員	①水稲 ②300アール	川南環境保全会				代表 大谷　哲三	農業活動と環境保全活動の促進	①15人 ②長生石合地区の農家	長生	非該当	被推薦者は農地利用最適化推進委員就任間もなく耕作放棄地（６反）の復田を行い、別件の耕作放棄地解消（３反）についても補助事業の対象となる事へのアドバイスを行うなど今後の活動が期待される。

5	ムラサキアキヒロ 村崎　明汎	79	男	農業	H21.6 H21.6 R7.6	市農業委員 県農済総代 阿南市農業後継者育成連絡協議会会長	①水稲 ②120アール	那賀川土地改良区				理事長 岩佐　義弘	土地改良施設の維持管理	①5,059人 ②当改良区内の受益組合員	長生	非該当	被推薦者は、旧那賀川南岸土地改良区の総代として長年にわたり地域農業の発展のために日々献身的に活動を行っていただいた。また、当該土地改良施設においても地元の維持管理を積極的に取り組み、地域農業の適正な営農に向けて努力をしている。今後、厳しい農業情勢を支えていただくため、当改良区から推薦します。
6	イハラ　カズテル 井原　一輝	66	男	農業	S55.4 R3.3.31 R3.4	大野農業協同組合 阿南大野・阿南市（合併等で名称変更） 阿南農業協同組合退職 就農（専業）	①水稲・露地野菜・果樹（みかん） ②240アール	阿南市中大野町協議会				会長 澤本　勝彦	快適な環境のもと中大野町の発展と町内に存在する住民の健康と福祉の向上をはかることを目的とする	①128人 ②中大野町内に住居を定め、その地域の実行組への入会手続きを終えた者	大野	非該当	井原一輝氏は４０余年の農協勤務で培った農家の現場における課題や農業政策についての豊富な知識を有し、退職後も専業農家として水稲をはじめ多品目の営農に精通されています。地域住民からの信頼も厚い人物であり農地の集積・集約化や遊休農地防止など、大野地区はもとより阿南市の農地利用最適化を推進する委員として最も適任であると確信し強く推薦いたします。
7	ドイ　ヒロアキ 土肥　浩昭	65	男	団体職員	S59.4.1 R4.3.31 R4.4.1	徳島県庁入庁 〃　退職 公益財団法人徳島県建設技術センター入社	①水稲 ②280アール	阪井　保晴	76	男	農業				見能林	非該当	徳島県庁退職後、農業を行いながら建設技術センターへ非常勤勤務をしている。農業については地域の農業者の農地も借受けたりして個人で手広く行っている。今後も意欲的に農業を行って行くことを計画しており活躍が大いに期待できる。
8	コマツ　マサユキ 小松　昌之	69	男	農業	S50.4.1 H29.3.20 H29.3.21 H30.6.29	(株)神崎製紙入社 退社・退職 就農(専業) 農地利用最適化推進委員就任	①水稲 ②165アール	阪井　保晴	76	男	農業				見能林	非該当	H29.3.20まで王子製紙で会社勤めをしながら現在165アールの水稲を耕作しております。スポーツマンであり正義感が強く責任感のある人です。
9	ミマ　ヨシヒサ 美馬　佳久	62	男	農業	H1.5 R6.3 R6.10 R7.4	財団法人徳島県総合健診センター（現：公益財団法人とくしま未来健康づくり機構）入職 退職 阿南市消防団入団 〃　退団（退職）	①施設野菜（きゅうり） ②14アール	藤川　英明	54	男	農業				宝田	非該当	・何事にも勤勉で誠実な人 ・家族でハウス胡瓜を始め健全な農家経営をしている ・昨年まで地元消防団に所属して、班長・部長を歴任し後輩の指導にあたった ・推進委員として適任である
10	ノムラ　マサヒロ 野村　昌弘	52	男	農業	H10 H14 H23 H28 H28	鳴門高校臨時教師 城西高校臨時教師 日亜化学工業 自営ＡＱＵＡＳＴＵＤＩＯ 農業	①水稲 ②700アール	野村　祐佳	52	女	農業				福井	非該当	認定農業者として福井地区で広い農地を活用した大規模な水稲に積極的に取り組まれています。地域農業の現状を理解し農地の有効活用や農業の発展に貢献できる適任者であるため推薦いたします。
11	オカモトタカシ 岡本　孝司	66	男	農業	S58.8.8 H29.3.31 H29.4.1	阿南農業協同組合入組 〃　退職 就農	①水稲・施設野菜（胡瓜）	笠原　喜好	70	男	農業				中野島	非該当	被推薦者は水稲ときゅうりのハウス栽培を通じて農業に積極的に取り組んでおり、これからの農業に対しての意欲がある。長きにわたりＪＡアグリあなんの支店長をした経験があり農業政策や地域の状況に詳しいことから推薦いたします。
12	ユアサ　タケヨシ 湯浅　壮宜	70	男	農業	S59.4.1 H29.3.31 H29.4.1 R3.6.1	徳島県小学校教員採用（阿南市立横見小学校） 徳島県小学校教員定年退職（阿南市立福井小学校） 就農（専業） 阿南市農地利用最適化推進委員就任	①水稲 ②190アール	今津南部土地改良区				理事長 尾崎　孝治	農業基盤の整備開発を図り、もって農業生産の向上、農業総生産性の増大、農業構造の改善に資すること	①72人 ②地区内の農地所有者並びに農業経営者	那賀川	非該当	現在、那賀川町において耕作放棄地が増加しており農業の大きな課題となっている。推薦者は今までの農地利用最適化推進委員としての経験を生かして、この現状を解消するため農地の集約化や新しい耕作者のお世話ができると考え推薦します。

13	カワタ　ヨシユキ 川田　善敬	75	男	農業	S44 S49 H18～ R3～	神崎製紙入社 同上退職 就農 農地利用最適化推進委員	①水稲 ②210アール	西野　徹	75	男	農業				那賀川	非該当	上記推薦者は地元の人望も厚く農地プランの中心経営体の一人として位置づけられており、多面的事業にも積極的に取り組まれ耕作放棄地の解消にも努めており農業発展に尽力されている為、今後とも継続して推進委員をやってもらいたいと思い推薦します。
14	スエキ　マキ 陶木　真紀	51	女	農業	H29.3.31 R2.2.27 R7.8.29	阿南市役所離職 認定新規就農者の認定を受ける 認定農業者（広域）の認定を受ける	①水稲・露地野菜 ②1,200アール	太田川土地改良区				理事長 末岐　仁人	管内組合員に安定的な農業用水の供給と水路の保全を目的とする	①280人 ②当改良区内に農地を保有する者であること	那賀川	非該当	地域の担い手として農地を借り受け耕作面積の拡大、また田植え・稲刈り等の作業の一部を受託するなど、夫と共に地域の農業を支え耕作放棄地の解消のために貢献したいと精力的に活動している。
15	サカモトマサシ 坂本　昌志	79	男	農業	S21 H25	徳島県青果農業協同組合連合会入会 全国農業協同組合徳島県本部退職	①果樹（柑橘） ②50アール	加茂谷地区連合総代会				会長 湯浅　恵次	地域の人と農地などの問題について話し合い、地域の将来像を取りまとめる組織	①11人 ②地域内の各地区の代表者	加茂谷	非該当	被推薦者は楠根地区で中心的な専業農家として長年従事し、誠実でやさしい人柄と強い責任感で地域農業の先導役として活躍されています。今後の地域農業の活動に高い意欲をもっていることから農地利用最適化推進委員として強く推薦いたします。
16	フクラ　ヤスヒデ 福良　恭秀	49	男	会社役員	H23 R1～ R1.10 R3～ R6	エスケー企画企業 就農 農政協議会委員 農地利用最適化推進委員 法人化	①水稲 ②1,300アール	仁尾　修治	46	男	自営業				羽ノ浦	非該当	制度の活用による農業機械の購入、中間管理機構などによる借地による耕作規模の拡大、作業受託などの実績を積んでいる。
17	タニ　ジュンコ 谷　淳子	64	女	農業	1986.2～	就農（専業）	①水稲・花き（洋ラン） ②50アール	中村　育美	62	女	農業				新野	非該当	被推薦者は農地利用最適化推進委員としても地域農業の発展の為、なくてはならない人となってきました。新野地区としては彼女を推薦します。
18	イチウ　アキノリ 一宇　昭典	73	男	農業	S47.4 H21.6 H21.11 R6.6	徳島相互銀行入社 徳島銀行退職 就農 農地利用最適化推進委員就任	①その他（筍） ②50アール	新野土地改良区				理事長 金久　博	改良区は農業生産の基盤の整備などを図り、改良区全体の農業の生産の向上や農地等の維持・保全と農業振興に努めている組織	①392人 ②地域内の農業関係者等で新野土地改良区に登録の組合員等	新野	非該当	被推薦者は、これまでに新野土地改良区副理事長、新野広域多面的交付金業務に携わり、新野地区全域の農地状況をよく知り、地域住民との対話も十分できる者である。現在、農地利用最適化推進委員として２期に渡り活動ができており、今後も推進委員として活躍が期待できる。

２．応募した者

番号	氏名	年齢	性別	職業	経歴		農業経営の状況 ①作付品目 ②耕作面積	応募する区域	農業委員への推薦又は応募の状況	応募の理由
4	ヤマダ　ヤスヨ 山田　恭代	50	女	農業・旅館業	H16 H23 H23 R5	(株)原田工業品質保証部入社 退社 徳島へ移住と就農（兼業） 農地利用最適化推進委員就任	①水稲・花き（椿） ②100アール	椿	非該当	私は兼業農家ですが農業に非常に関心があります。農民作家の山下惣一さんの考えを是とし、そのめざした道を歩みたいと思っています。農業・農家とのつながりを断ちたくないとの思いから農地利用最適化推進委員に応募します。